

1月14日 9:00 – 11:00

各少数民族グループのプロジェクトによる利益と参加についての研究諮問 ー北部山間部各省の貧困削減プログラムー

ベー・ヴァン・ハウ（ベトナム国社会科学院社会学院）

本報告は、ベトナム北部山間部各省の貧困削減プログラムの概要の紹介と、プログラムの利益（実施効果）およびプログラムへの少数民族の参加に関する研究についてである。

ベトナム政府の貧困削減計画の目的は、ベトナムが 2020 年までに現代的工業国になれるように、社会主義市場経済の基盤を強化することにある。その貧困削減計画の一環である北部山間部各省の貧困削減プログラムの目標は、貧しい住民がインフラ整備と社会サービスを利用できるようにすると同時に、各県、各社（村）の能力を強化することである。プログラムの具体的な内容は、道路と市場の整備、農業モデルの構築、水道整備、医療サービスと教育の強化等である。

このプログラムについて、「発展に関する研究・諮問センター」は、以下のような観点に基づいて評価をおこなった。すなわち、

- 1) プログラムの目標と活動について、情報の伝達と宣伝の実施効果がどれくらいか。
- 2) 少数民族がこのプログラムにどれくらい積極的に参加したか。
- 3) 少数民族がこのプログラムによってどれくらい利益を獲得し、理解を深めたか。

これについて、以下のような結論を下した。

第1に、プログラムの利益（実施効果）については、1) 少数民族の収入増大に貢献し、2) 各種団体、社会組織に自主権を譲渡し、3) 地方政府や住民の能力は向上した。第2に、プログラムへの少数民族の参加については、少数民族は1) 選択、提出、観察を実現し、2) 毎年の訓練に参加し、3) 各会合に参加し、4) 民族間の平等を実現した。

ただし、本プログラムには以下のような問題点もあった。

- 1) 専門家指導後のフォローが欠如。地元幹部の能力不測が原因。非合理的方法に戻ってしまう。
- 2) インフラ（橋、道路、水路等）建設計画に社（行政村）が参加せず。計画が地元で検討されない。地元幹部の計画に対する認識不足が原因。労働に携わるだけになってしまう。
- 3) 個々の実施条件（地元環境や資金）を検討せず、計画が実施されてしまう。
- 4) 各種計画において横の連携がなく、非効率的である。
- 5) 計画よりも劣悪なものが建設されてしまう。→汚職が蔓延していること、民衆の管理意識と技術不足が原因。

（記録：下條尚志）